

# 福祉体験学習



6月19日、神石高原町社会福祉協議会の「福祉教育メニュー」として、庄原市に在住の車いす生活をされている方と福祉協議会の方々をゲストティーチャーとして来ていただき、「車いすのこと」や「車いすの補助の仕方」などについて教えていただきました。今回の学習を通して、「車いすの使い方」を学んだだけでなく、これからの自分の考え方で学びました。

まず、車いすの仕組みや種類、使い方などについて説明を聞きました。

「ここを押すといすが広がります。」

「いすの下のバーをふむと、簡単に前を浮かすことができます。」



次に、実際に車いすを押したり、乗ったりして「車いすの使い方」「補助の仕方」について、体験学習をしました。



さあ、スタート！！  
補助に2人つきます。



マットの上は柔らかくて難しい！



「段をおります」の声かけで安心！



少しの坂やせまい所は、補助が前後について、ゆっくりゆっくり！



低い所の物を取るの  
のは難しいな！



補助なしで1人で乗ると  
思ったように動けず難しい！



最後に学習のまとめ発表

**学習を終えて…大切なことを学んだ福祉体験学習でした。**

○ぼくは、自分が車いすに乗ってみて、車いすに乗っている人の気持ちがよく分かりました。補助の人が「おるよ。」とか「進むよ。」と声をかけると、とても助かるということが分かりました。

○「足が不自由になったから、車いすに乗れるようになった。新しい友達もできた。」とおっしゃいました。ぼくは、この言葉を聞いて、自分の受け取り方で世界が変わることを教えていただいたと感じました。